

乳頭口とミルカーの関係

乳房炎になる要因の一つに乳頭口の荒れたところから、乳房炎原因菌が侵入し、炎症を起こす事が挙げられます。暑くなるこれからの時期、乳頭口の状態をきれいに保って乳房炎発症の少ない牛群を目指しましょう。

<乳頭口の状態と乳房炎>

過搾乳の状態が続き、乳頭口の損傷が起こると乳房炎のリスクが高まります



←乳頭口が滑らかで角質化が全く無い
(理想的な乳頭口の状態)



過搾乳で乳頭口に損傷が起こると・・・



←乳頭口がリング状に盛り上がったたり、角質化、かさぶたが見られる
(この様な状態の牛が全体の10%以上いると要注意!!)

<過搾乳に注意…ミルカー着脱のタイミング>

・前搾りからミルカー装着まで早すぎませんか？

約60～90秒で装着すると良いといわれています。乳頭刺激により乳頭が膨らんできたら装着タイミングです(装着が早すぎるのであればプレディッピングを行うのも良い方法です)。



先端がリング状に盛り上がっている

・ミルカー離脱が遅くありませんか？

以前の自動離脱装置の乳量は毎分200～400cc程度といわれていましたが、現在の離脱設定乳量は乳頭に負担をかけないように600～1000ccが目安となっています。クロー内の牛乳の流れ方を目視で確認し、早めの離脱を心がけましょう。

(写真1 乳頭口の荒れ)



毎分600cc程度だとクロー内にうっすらと牛乳が流れるくらい

(写真2 クロー内の牛乳)

・搾乳作業を分担していませんか？

清拭する人とミルカーを装着する人が別だとミルカー装着までの時間が一定になりにくくなります。できるだけ一連の作業は1人で行うようにしましょう。

乳頭口の状態を3ヶ月に1度程度チェックしてみてください

(2019年6月発行 十勝農業改良普及センター十勝東北部支所)